

会議結果のお知らせ

- 1 開催した会議の名称 令和3年度 第1回佐伯市男女共同参画審議会
- 2 開催日時 令和4年1月18日(火) 10時から12時00分まで
- 3 開催場所 佐伯市役所本庁舎6階 第2委員会室
- 4 出席者

◆委員16人(全委員16人)

委員 石井まこと	委員 植木優子	委員 柿本佳加美	委員 河野麻美
委員 桑野恭子	委員 小嶋眞二	委員 古手川美知代	委員 高瀬精市
委員 田中ツルミ	委員 富高国子	委員 平野憲司	委員 増村鈴栄
委員 宮川美月	委員 宮本昌和	委員 盛崎 雄一郎	委員 吉川勝己

◆市職員4人

総務部長、人権・同和対策課職員(事務局)

- 5 公開、非公開の別 公開
- 6 傍聴人数 2人
- 7 議題及び結果

- (1) 令和2年度 男女共同参画計画進捗状況について
- (2) 令和3年度 審議会等における女性委員の登用率について
- (3) 令和3年度の男女共同参画事業の実績及び令和4年度の主な取組について

議題については資料事前配布の上、事務局が資料説明。議題ごとに各委員からの意見を求め、特に取組に対する評価方法や女性登用について質疑及び意見が多く出された。主な意見については以下のとおり。

(主な意見)

○取組に対する評価について

- ▶ 評価の仕方について。例えば、「チラシを〇〇部配布した」という評価の方法もあるかもしれないが、適切な対象者に対して行った啓発・取組によってどう変わったかに着目することが大切。
- ▶ 効果は量より質で図るべきで、定量的なデータだけでなく定性的なデータ(数字では表せない性質)で評価していくことが大切。

○審議会の女性委員登用率について

- ▶ 事務局が担当課と個別に協議しているが、その話を聞く担当課側に女性職員(管理職)がいるかというのも影響があるのではないか。職員の女性管理職率の上昇と審議会の女性委員登用率上昇は双方に影響があると感じるため、両者を同時に進行していく必要がある。

○市民アンケートについて

- ▶ アンケートの対象を市民だけでなく、事業所、関係施設、学校なども考慮してみたい。

○女性の管理職率について

- ▶ 現在、市の目標値が国の目標値より低い状況。国の目標値は、国として最低限達成しようという数値であり、市町村においては独自にさらに上回るよう取り組みを行い、数値を設定するべきではないか。

○第5次男女共同参画基本計画について

- ▶ 女性の貧困は深刻な問題。声なき声をどう吸い上げるか。ひとり親の傾向として、自立意識が高く、自分でどうにかしようという人が多い。ひとり親だからではなく、広い視野で困っているから一緒に解決していきましょうという支援・アプローチが必要。女性の視点が增えることは、困っている・孤立している人などに目が届きやすくなる。多様性が重要。

全体を通しておおむね了承を得た。

8 会議の資料名一覧

- ・次第及びレジュメ
- ・【資料1】男女共同参画計画進捗状況調査結果（令和2年度調査）
- ・【資料2】女性委員の登用率が40%に満たない審議会等について
- ・【資料3】令和3年度 審議会等における女性委員の登用率について
- ・【資料4】女性管理職率について
- ・【資料5】第5次男女共同参画基本計画について

9 問い合わせ先

担当課 総務部 人権・同和対策課 人権推進・男女共同参画係  
電話番号 0972-22-3085